

持続可能なまちづくり・地域づくりのための文化政策立案及び地域マネジメント

Policy Studies and Regional Management for Sustainable Community Development

キーワード：文化的景観、土木史 / keywords: Cultural Landscape, History of Civil Engineering

田中 尚人 准教授 Ph. D. / **Naoto TANAKA** Assoc. Prof., Ph.D.

政策創造研究教育センター / Center for Policy Studies

E-mail : naotot@※ Tel : 096-342-2040 URL : <http://www.civil.kumamoto-u.ac.jp/red/>

●ソーシャルキャピタル醸成のための文化的景観保全施策の実践

文化的景観は、日本で最も新しい文化財保全制度であり、地域固有の歴史、自然環境、生活・生業を支えてきた、風景の生成メカニズムを地域住民と基礎自治体が協働して継承していく取り組みである。文化的景観保全に有用な、地域の普遍的な価値を、地域住民・行政・アソシエーションの各ステークホルダーが発見あるいは再発見し、その価値を共有し、持続可能な未来を創造していく施策を立案し実践している。



●土木史研究に基いた土木遺産活用手法及び教育プログラムの開発

国土基盤、地域基盤、生活基盤として公共の用に供してきたインフラストラクチャーに関する土木史研究を行い、各基盤施設、システムと地域の関わりの変遷を分析する。その知見を、地域住民、行政との協働による土木遺産の保存・活用施策や、地域学習、公共空間デザインのための合意形成などに活かす。地域アイデンティティの核となるローカルルールや暗黙知を継承することができる。

●まち歩きを基盤とした参加による地域ヴィジョン及びマスタープランの策定

まち歩きは、参加の手法に基づきつつ地域の歴史や文化を学ぶ、最も手軽な路上観察学の実践、アクションリサーチである。まち歩きコースのデザインや案内人やもてなすコミュニティが地域自治の基盤となり、参加による地域ヴィジョン及びマスタープラン策定が可能となる。ワークショップやインタビュー調査など、地域社会の意志を育てる、グループ・ダイナミックス的な地域分析ができる。



●シビックプライドの醸成を目的としたデザイン思考によるアクションリサーチ

シビックプライドとは、都市や地域に対する自負や愛着、地域アイデンティティの拠り所を持つことを指す。風景や土木遺産群、地割や街路ネットワークなど、さまざまな都市、地域の構成要素と地域社会、構成員との関係性を読み解き、小子高齢社会の様々な社会的課題を、デザインの力で解決するデザイン思考のアクションリサーチを展開する。地域のシンボルマークづくりや絵日記ワークショップなどの手法を開発している。